

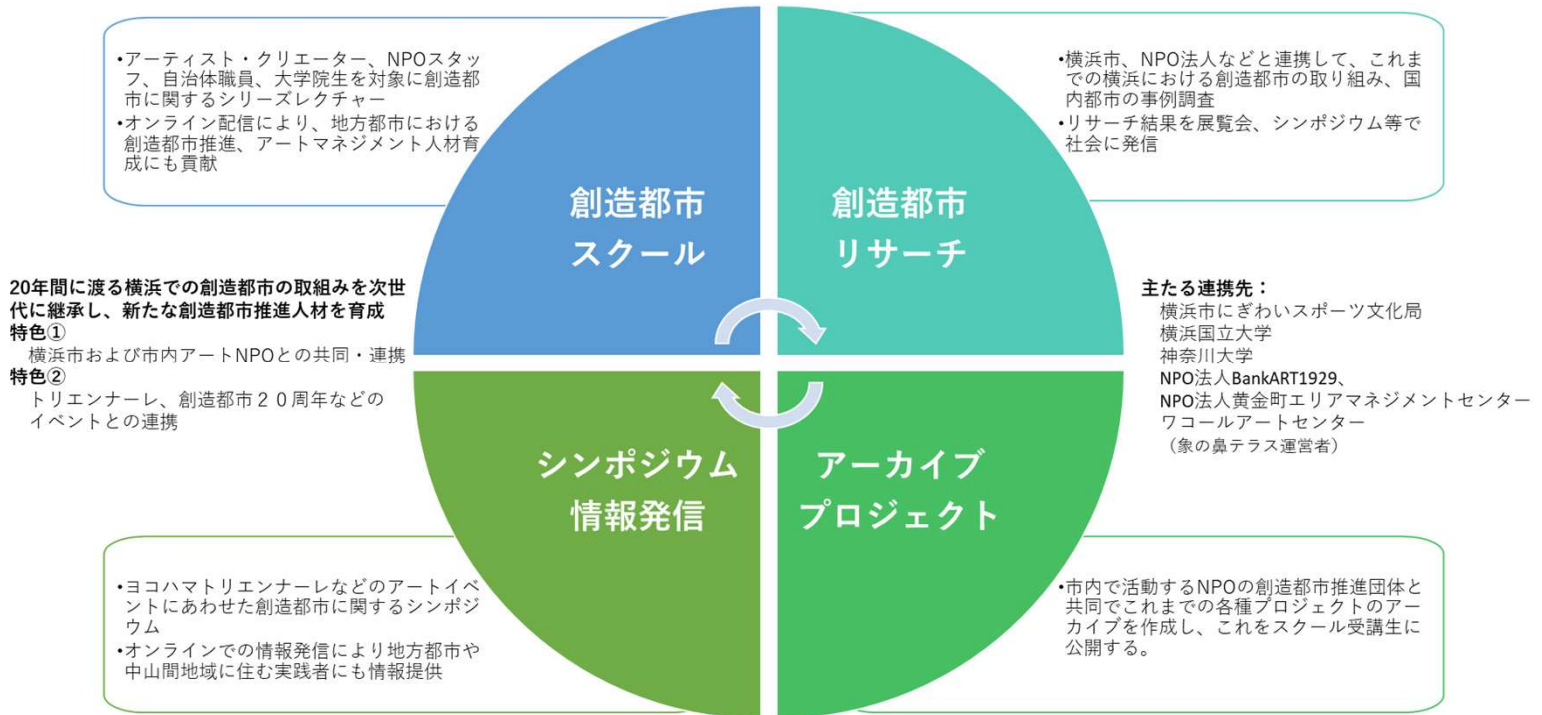
— 横浜市立大学 —

地域社会と連携した創造都市マネジメント推進人材育成プログラム

創造都市政策は、文化政策、都市計画、産業政策などの複合領域にまたがる自治体政策である。本プログラムでは、自治体政策担当者や担い手として地域でアートプロジェクトを実施するNPOなどの団体スタッフを対象に、スキルアップを目的とした研修プログラムを提供する。

特に、本学大学院都市社会文化研究科教授の鈴木伸治らの研究グループがフィールドにする、日本における創造都市分野の先進都市である横浜市の約20年にわたる官民の取組の蓄積を研修プログラムに組み込むことによって、実践的な研修プログラムを構築することが特徴である。また、研修プログラムをオンライン公開することで、全国から参加可能な公開型のレクチャーを中心に据えたプログラムとする。公開にあたっては、創造都市ネットワーク日本(CCNJ)との連携によって、全国の自治体関係者やアートNPOなどにプログラムを公開する。

プログラムの全体像



人材育成目標（目指す人材像・人材が必要な背景・育成対象者）

アートマネジメント人材の中でも、特に、自治体における創造都市政策担当者及びその担い手となる民間NPOなどの・スキルアップ・人材育成に注力する。そのために、自治体政策に関する理解、地域社会の動向（空き店舗・空きオフィスの増加、地域コミュニティが抱える課題、公共空間活用）などに関する知識を提供する。

横浜においては、創造都市のプロジェクトに関わる複数のNPO法人等の団体や、アーティスト・クリエイター、地域のコミュニティリーダー、自治体職員も多くいるが、お互いの交流の機会には十分ではない。また、都心部の創造都市に関わる団体においても、スタッフの高齢化も進んでおり、さらには創造都市の郊外部への展開など、さらなる若い担い手が必要とされている。団体や分野をこえて交流し、知識や経験を共有し、学び合いのプロセスを定着させることによって、創造都市推進に必要とされる実践的な人材育成を行うことを目標とする。

令和6年度 育成プログラムの内容（予算額：11,411,000 円）

| | |
|------------------------------|---|
| 創造都市スクール | 日時：令和6年6月から令和7年1月 コマ数：48回×90分 |
| 講師名 | ディレクター：鈴木伸治（プログラムディレクター、横浜市立大学）、秋元康幸（プログラムディレクター、横浜市立大学） |
| 実施概要 | ①創造都市概論（佐々木雅幸）、②自治体政策としての創造都市（野田邦弘）、③文化政策論（吉本光宏）、④都市デザイン論（秋元康幸）、⑤歴史資源活用論（鈴木伸治）、⑥スマートシティ論（南雲岳彦）、⑦アートプロジェクト論（上野正也）、⑧アーツカウンシル論（杉崎栄介）⑨アート・プロジェクトレビュー1・2（秋元康幸）⑩創造都市政策レビュー1・2（鈴木伸治） |
| 創造都市リサーチ | 日時：随時 コマ数：随時 |
| 講師名 | 鈴木伸治ほか（プログラムディレクター、横浜市立大学）、野原卓（横浜国立大学）、上野正也（神奈川大学）および大学院生 |
| 実施概要 | 平成16年からはじめた横浜市における創造都市政策に関連する調査を実施（これまでの20年間の各団体の取組についてリサーチも含む。） 創造都市ネットワーク日本（CCNJ）加盟自治体の中から対象（神戸市、丹羽篠山市、京都市）を決め、調査を実施、横浜市とも協働したこれら調査結果の検討等を実施 |
| 創造都市アーカイブ・プロジェクト | 日時：令和6年4月から令和7年1月末まで コマ数：15回×90分 |
| 講師名 | 秋元康幸（プログラムディレクター、横浜市立大学）、鈴木伸治（プログラムディレクター、横浜市立大学） |
| 実施概要 | 創造都市に関する活動を行うNPO法人、個人、地域団体等の協力を得ながら、横浜市の創造都市に関する活動のアーカイブ作成をプロジェクトベーストレーニング形式で実施 大学院生を含む創造都市スクールのメンバー中心にこれを実施し、基礎的な講義を受けた上で、課題としてアーカイブ化の作業し、報告書としてまとめ、次年度以降のスクールのテキスト化 |
| シンポジウム「創造都市スクールキックオフ」 | 日時：5月24日（金）14時～17時 コマ数：1回×180分 |
| 講師名 | 佐々木雅幸（大阪市立大学名誉教授）他（※「育成成果報告」参照） |
| 実施概要 | 創造都市スクールの開校を記念して、シンポジウムを実施（シンポジウムのテーマは、「創造都市のこれまでとこれから」） |

シンポジウム「創造都市スクールキックオフ」～20年目の創造都市、これまでとこれからを考える～

5月24日(金)14時～17時 @横浜市役所アトリウム【来場者：175名（内会場来場者：73名）育成対象者：145名】

基調講演では、「世界と日本の創造都市」として、佐々木雅幸氏（大阪市立大学 名誉教授）が、21世紀末に提唱された創造都市論に始まり、ポロニーヤなど各国における研究や実践について紹介。「創造産業」や「創造人材」が、「創造都市」にとって重要な要素であること、日本においては「市民一人ひとりが創造的に、働き、暮らし、活動する都市」を提唱してきたこと、現在は、都市から農村、アジア圏へと最近では小さな都市まで創造都市の広がりがつつあることが紹介された。

ラウンドテーブルディスカッションでは「創造都市のこれまで」は20年間の創造都市を推進してきた方々が、「創造都市のこれから」は創造都市の拠点での活動の担い手として活躍されている方々が登壇し、「創造都市」について幅広いディスカッションを実施した。



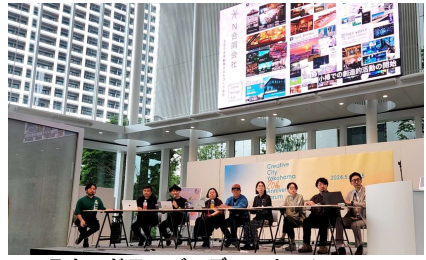
基調講演「世界と日本の創造都市」

<プログラム> (敬称略)

- 1 趣旨説明 鈴木伸治（横浜市立大学 教授）
- 2 基調講演「世界と日本の創造都市」 佐々木雅幸（大阪市立大学 名誉教授）
- 3 ラウンドテーブルディスカッション【Part1 創造都市のこれまで】
吉本光宏（文化 commons 研究所 代表）、野原卓（横浜国立大学 准教授）、細淵太麻紀（NPO法人BankART1929 代表）、山野真悟（NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター 事務局長）、岡田勉（象の鼻テラスアートディレクター）、野田邦弘（横浜市立大学大学院 客員教授）、永井由香（横浜市にぎわいスポーツ文化局 文化芸術創造都市推進部長）、鈴木伸治（横浜市立大学 教授）
- 4 ラウンドテーブルディスカッション【Part2 創造都市のこれから】
岡部友彦（コトラボ合同会社 代表）、福島慶介（NPO法人OTARU CREATIVE PLUS 専務理事・福島工務店 代表取締役）、吉田有里（名古屋芸術大学 准教授）、大越晴子（象の鼻テラス チーフ）、津澤峻（NPO法人BankART1929）、山野桂（NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター）、小原光洋（アーツコミッション・ヨコハマプログラムオフィサー）、園田大介（横浜市にぎわいスポーツ文化局 創造都市推進課担当係長）、上野正也（神奈川大学 准教授）
- 5 終わりに：創造都市スクールの紹介 秋元康幸（横浜市立大学 特任教授・NPO法人BankART1929 副代表）



ラウンドテーブルディスカッション【Part1 創造都市のこれまで】



ラウンドテーブルディスカッション【Part2 創造都市のこれから】

創造都市スクールHP
<https://creativecommons.yokohama/>



(動画)シンポジウム
創造都市キックオフ



創造都市スクール（前期）

6月11日(火)～8月9日(金)18時30分～20時 @横浜市立大学みなとみらいサテライトキャンパス/オンライン

【来場者：357名（内会場来場者：8名前後）育成対象者：277名】

プログラム

Unit 1『創造都市概論』

| | | |
|----------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 6月11日(火) | 創造都市論の背景と理論系論（マンフォード、ジェイクソブ、P.ホール等） | 秋元康幸（横浜市立大学 特任教授 BankART1929 副代表） |
| 6月18日(火) | 現代の創造都市論（ランドリーとフロワード） | 細淵太麻紀（BankART1929 代表） |
| 6月25日(火) | 海外における創造都市の展開（ポロニーヤ、ハルセロナ、モンドリオール等） | 山野真悟（黄金町エリアマネジメントセンター 事務局長） |
| 7月2日(火) | 日本における創造都市の展開（金沢、神戸、京都等） | 大越晴子（スバイラル/株式会社ワコールアートセンター） |

Unit 2『横浜の創造界隈拠点論』

| | | |
|----------|--------------------|-----------------------------------|
| 6月14日(金) | 横浜の創造都市と創造界隈拠点について | 秋元康幸（横浜市立大学 特任教授 BankART1929 副代表） |
| 6月21日(金) | 創造界隈拠点 BankART1929 | 細淵太麻紀（BankART1929 代表） |
| 6月28日(金) | アートのまちづくり 初黄・日ノ出地区 | 山野真悟（黄金町エリアマネジメントセンター 事務局長） |
| 7月12日(金) | 創造界隈拠点 象の鼻テラス | 大越晴子（スバイラル/株式会社ワコールアートセンター） |

Unit 2 講師

| | | | |
|------|-------|------|------|
| | | | |
| 秋元康幸 | 細淵太麻紀 | 山野真悟 | 大越晴子 |

Unit 3 講師

| | | |
|------|-----|-----|
| | | |
| 鈴木伸治 | 津澤峻 | 山野桂 |

Unit 4 講師

| |
|-----------|
| |
| ジョ・ジョンジュン |

Unit 3『創造都市の担い手たち』～3つの拠点の若手ディレクターたちが選んだ都市の活動

| | | |
|----------|-----------------------------|---|
| 7月9日(火) | 創造都市の担い手たち | 鈴木伸治（横浜市立大学 国際教養学部 教授） |
| 7月16日(火) | 私立大宮美術館（三重県津市） | 大塚祐介（建築家）中谷ミチコ（建築家）津澤峻（BankART1929） |
| 7月23日(火) | 九州コミュニティ研究所（CRK(クリック)）福岡福岡市 | 池田祐介（九州コミュニティ研究所）山野桂（黄金町エリアマネジメントセンター） |
| 7月30日(火) | 建築センターCoAK（京都市京都市） | 川原真一（建築キレクター（一社）建築センターCoAK 代表理事）大越晴子（象の鼻テラスチーフ） |

Unit 4『自治体政策としての創造都市』

| | | |
|----------|--|--|
| 7月19日(金) | 自治体文化行政からクリエイティブシティ・ヨコハマへ | |
| 7月26日(金) | 韓国文化都市と日本の創造都市（講師：釜山文化財団生活文化部長官・ジョンジュン、ZOOM出演） | |
| 8月2日(金) | 国連、EU、文化庁の取組、創造農村政策、芸術不動産 | |
| 8月9日(金) | 創造経済論～へのづくりから知的財産へ、創造性教育論、クリエイターシティ・チガサキ | |

第一人者である佐々木教授から、創造都市の系譜や意義について基本的な講義をユニット1として実施。横浜の創造都市の取組、各地域の創造都市の取組に加え、自治体政策として実施されてきた国内外の経緯や事例などの講義を行い、体系的に学べるプログラムとした。また、プログラムディレクターによる講義時のサポート、オンライン配信、アーカイブ動画の視聴を可能とするなど、育成対象者の多様な学びをサポートした。



創造都市スクール（6月18日）

今後の実施予定（将来展望）

本年度後期のスクールは、文化政策、まちづくり、創造産業論の3分野からカリキュラムを構成し実施予定。創造都市リサーチ、創造都市アーカイブ・プロジェクトについては、それぞれ実施し、講義の中でそのアウトプットを紹介し、来年度の申請予定のカリキュラムにも反映させていく予定である。